

## ともしびのつどい

ねらい	(1) セレモニーやレクリエーションに集団の一員としての自覚を持って参加させることにより、けじめや連帯感を身につけさせるとともに、参加者一人一人に自己を見つめさせ、希望を持たせる。 (2) ゲームや出し物を通して、レクリエーションの楽しさを味わう。	
費用	ろうそく代1人5円	
対象・人数	小学生以上・200人程度	
場所	プレイホール	
準備・用具	・借用する用具：燭台、ろうそく（大）（小：人数分）、ブルーシート、着火ライター、CDデッキ、CD ・団体の準備：セリフのカード、懐中電灯 ※ 営火入場から退場までのリハーサルを当日の夕食前に実施する。 ① 電動カーテンを閉める。 ② シートを中央に置き、燭台を置く。 ③ ろうそく（大）（小：人数分）を確認する。	
必要な係	営火長1人、親火1人、子火4人、進行係、音楽係 ※ 必ず事前に役割分担をする。	
隊形		
実施方法	<p>【内 容】</p> 〈第1部迎え火のつどい・20分〉（静） 1 開会のことば 2 営火入場（BGM）〈選曲自由〉 3 ともしびに捧げることば（親火） 4 誓いのことば（親火から子火へ） 5 燭台へ点火（親火、子火） 6 迎え火のことば（営火長） 7 分火（係から全員へ） 8 司会者からよびかけ（ともしびを消す）  〈第2部交歓のつどい・45分〉（動） 班別の出し物 レクリエーション・ゲーム・ダンス等  〈第3部送り火のつどい・15分〉（静） 1 送り火のことば（営火長） 2 納火 3 司会者からのよびかけ 4 閉会のことば	<p>【留意点】</p> ○ 引率者と係の研修生は、指導員と事前リハーサルを行う。 ○ 音楽に合わせて、親火、子火4、子火3、営火長、子火2、子火1の順で入場する。 ○ 床にろうそくが垂れないように留意する。  （※ レクリエーションでホールを広く使う場合は、中央の燭台をプレイホールの隅に移動する。） ○ みんなで楽しく活動し、交流を深める。 （※ 燭台を中央に移動し、ろうそくに火をつける。） ○ 自己を見つめさせる機会にする。 ○ 閉会后、燭台等を片付ける。

## 《 ともしびのつどいの進め方（引率者用）》

★マーク：引率者へのお願い

### 1. ともしびのつどいの全体について

- ★ 第1部・第3部は静かな式（自分を見つめ直す式）です。  
しゃべったり、笑ったりしないよう指導をお願いします。
- ★ 第2部では、レクリエーションや出し物の準備をお願いします。
- ★ 団体の思いを入れた展開やセリフを考えて団体オリジナルのともしびのつどいをつくると、より心に残る有意義なつどいになります。

### 2. 本番までの準備

① 係決め …親火、子火1、子火2、子火3、子火4、営火長、進行係1人、音楽係1人

#### ② 役割確認や練習

【入場順】 親火、子火4、子火3、営火長、子火2、子火1

【各係の主な役割】

- ・親火 火をつけて入場。参加者に火を分ける係。
- ・子火 誓いのことばを言って親火から火を分けてもらう。
- ・営火長 迎え火・送り火のことばを伝え、火の点火の合図を出す。
- ・進行係 マイクを使って司会進行をする。本番は暗いので懐中電灯を使い原稿を読む。
- ・音楽係 BGMの音楽を流したり、音を調整したりする。

#### ③ 第2部のレクリエーションや出し物などの準備

### 3. 本番での引率者の役割

#### ① ともしび運営係

- セリフカードの準備（暗記している場合は不要。セリフカードの貸出あり）
- ともしびのつどいリハーサルは、係の研修生と一緒に参加
- 入場前に音楽（CD1番）を流し、入場する際に音楽を消す
- 入場前に親火だけ火をつける（ライターの貸出あり）



写真1

#### ② 全体指導係

- 始まる前に参加者全員へ小さいろうそくを配る（写真1）
- 第1部と第3部が静かな式【自分を見つめ直す式】であることを伝え、しゃべったり笑ったりしないよう指導

#### ③ 電気・カーテン係

- 第1部では電気を消し、カーテンを閉めてから式を始める  
（カーテンは自動開閉。スイッチは舞台下右側）
- 第2部では電気をつけ、第3部では電気を消す  
（電気のスイッチは舞台下右側と出入り口右側に2カ所）

### 5. 第一部の流れ（20分）

- ① 参加者は静かに燭台を丸く<sup>しよくだい</sup>囲んで間隔をとって座る。
  - ・50人未満は1列の円、50人以上は2列の円をつくって座る。
- ② 係は器具庫1からゆっくり歩き、反時計回りで入場。
  - ・係は器具庫1で待つ。
  - ・入場では親火だけに火がついている状態。
  - ・2.5～3mくらい離れて入場。
  - ・背筋をのばしてゆっくりと歩く。
  - ・キャンドルスティックはカップを目の高さに合わせて右手で垂直に持つ。

- ③ 燭台の周りに円をつくる（親火と営火長が真正面に来るように立つ）
  - ④ 親火の点火（親火が燭台の一番上のろうそく一本に火をつける。）
  - ⑤ 誓いの言葉（言葉の後に親火が各係へ火を分ける。火をもらう人がろうそくを傾げる。）
  - ⑥ 燭台への点火（係全員で燭台の奥のろうそくから火をつける。）
  - ⑦ 参加者への分火（参加者が立ってから火を分ける。火をもらう人がろうそくを傾げる。）
  - ⑧ ともしびを消す（司会者のよびかけの後に、全員ろうそくに息を吹きかけて火を消す。）
- ★第一部が終わったら、参加者全員のろうそくを集めて、次の指示をお願いします。

## 6. 第二部の流れ（45分）

- ★レクリエーションの時間は、準備してきた出し物で自由に楽しんでください。
- ★燭台は、邪魔にならない場所へ火をつけたまま移動させてください。

## 7. 第三部の流れ（15分）

始まる前に電気を消してください。

- ① 納火（ともしびを消す）
    - ・係は一番上のろうそくの火は残して、そのほかの火をカップを使って消す。（消すときには、手前のろうそくから火を消す。）
  - ② 司会者のよびかけ
    - ・よびかけの後に、親火が一番上のろうそくの火を消す。
- ★第三部終了後は、電気をつけてカーテンを開け次の指示を出してください。

## 8. 後片付け（★使用した道具にアルコールをかけてから片付けをお願いします。）

★器具庫 1 の中に片付けるもの（写真 2・3）

- 燭台（そうじ道具横）  ブルーシート（棚上段・左）  係のろうそく（棚前・左）
- 参加者のろうそく（棚上段・中央）

★CDデッキとマイクはプレイホール入口に置いていてください








★事務室に返却するもの（写真4）






- ライター  貸出用セリフカード  CD

★戸締まりや消灯の確認

- 窓しめ  電気を消す（自動スイッチは舞台下右側または出口左側）
- カーテンを開ける（自動スイッチは舞台下右側）
- プレイホール入口の活動チェックリストにチェック

## ともしびのつどい（展開例）

第一部 展開	演出ポイント
<p>&lt;第1部 迎え火のつどい&gt;</p> <p>※ 参加者入場（静，動，静の流れについて，事前に十分指導しておく） 静かに燭台を丸く囲む形で入場する。一重く50人く二重円 係は器具庫1で待機。親火だけ火をつける。電灯を消す。</p>	<p>電気・カーテン：電 気は消して，カー テンは閉めて，ス タートする</p>
<p><b>1 開会のことば</b> </p> <p>・音楽係 音楽が流す 進行「ただいまから，（ ）のともしびのつどいを始めます。」</p>	<p>音楽：CD1番</p>
<p><b>2 営火入場</b></p> <p>進行「営火入場」（強くはっきりとした声で）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親火，子火4，子火3，営火長，子火2，子火1の順に入場</li> <li>・音楽係 入場が終わったら音楽を徐々に小さくして消す </li> </ul> <p><b>点火</b> </p> <p>進行「営火長は，点火の合図をお願いします。」 営火長「点火」（ゆっくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親火 頂上の一本に火をつける。</li> </ul>	<p>入場者：堂々と 胸を張って入 場し，決して 笑わない</p> <p>音楽：音楽を消 すときは， 少しずつ小さく して消す</p>
<p><b>3 ともしびに捧げることば</b></p> <p>進行「親火の方は，ともしびにささげることばをお願いします。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽係 CD2番を小さい音量でつける </li> </ul> <p><b>親火のことば</b></p> <p>「わたしたち（ ）の（ ）人は，ここ霧島自然ふれあいセ ンターにおいて，ともしびのつどいを開くことができ，うれしく思い ます。（間）ひとつ屋根の下で共に語り，共に寝起きする中で，今まで 気付かなかった友達のすばらしい姿を発見し，（間）自分の姿を見直しな がら，さらに，友情を深めたいと思います。（間）今夜は，仲良く，楽し く心に残るつどいにし，これを機会に明日からの生活に役立てることを 誓い，ともしびにささげることばとします。」</p> <p style="text-align: center;">令和〇〇年〇月〇日    〇〇代表    〇〇 〇〇</p>	<p>音楽：係の言葉が 参加者に聞こえ るように気をつ けて音量を調整 する</p> <p>親火：大きな声で 堂々と言葉を述 べる</p>
<p><b>4 誓いのことば</b></p> <p>進行「親火の方は，子火に呼びかけて，ともしびを分けてあげてください。」 （はっきりとした声で）</p> <p><b>子火1へ分火</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親火 子火1の前まで歩き，向かい合って一礼</li> <li>親火 「強い心と体の持ち主になるために」</li> <li>子火1 「わたしたちは，心と体をきたえ，どんな苦しみにも負けず， 最後までやりぬく強い心と体の持ち主になるよう努めます。」</li> <li>・親火 子火1へ火を分ける</li> <li>・親火・子火1 火がついたら一礼をする</li> </ul>	<p>子火：大きな声で 堂々と言葉を述 べる</p>

第一部 展開	演出ポイント
<p><b>子火2へ分火</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親火 子火2の前まで歩き, 向かい合って一礼</li> <li>親 火 「豊かな心の持ち主になるために」</li> <li>子火2 「わたしたちは, 自分のことだけでなく, いつも他人の立場を 考え, 親切で思いやりのある温かい人間になるよう心がけま す。」</li> <li>・親火 子火2へ火を分ける</li> <li>・親火・子火2 火がついたら一礼をする</li> </ul> <p><b>営火長へ分火</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親火 営火長の前まで歩き, 向かい合って一礼</li> <li>・親火 営火長に火を分ける</li> <li>・親火・営火長 火が付いたら一礼</li> </ul> <p><b>子火3へ分火</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親火 子火3の前まで歩き, 向かい合って一礼</li> <li>親 火 「いつまでも変わらない友情のために」</li> <li>子火3 「わたしたちは, このすばらしい友情をさらに深め, これから の人生を共に助け合い, 励まし合っていくことを誓います。」</li> <li>・親火 子火3へ火を分ける</li> <li>・親火・子火3 火がついたら一礼</li> </ul> <p><b>子火4へ分火</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親火 子火4の前まで歩き, 向かい合って一礼</li> <li>親 火 「一日一日に全力を尽くすために」</li> <li>子火4 「わたしたちは, 一日一日を反省し, 明日に向かって全力を尽 くし, 悔いのない毎日を過ごすように努めます。」</li> <li>・親火 子火4へ火を分ける</li> <li>・親火・子火4 火がついたら一礼</li> </ul>	
<p><b>5 燭台へ点火</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親火は元の位置へ戻る</li> <li>・親火が元の位置へ戻ったら, 進行を始める</li> </ul> <p>進行「係の方は, 全員で燭台のろうそくに点火してください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・係は燭台のろうそくに点火する</li> <li>・音楽係 音量を少しずつ上げる</li> </ul> <p>ろうそくに全て火が灯ったら, 音量は大きいままにする</p> <p>係が元の位置に戻ったら, 音量を徐々に小さくする</p> 	<p>音楽：係が全ての ろうそくに火を灯 したときに, 音量 が大きくなるよう にする</p>



第一部 展開	演出ポイント
<p><b>6 迎え火のことば</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進行 係が元の位置に戻ったら、進行を始める</li> </ul> <p>進行「営火長は、迎え火のことばをお願いします。」</p> <p><b>営火長のことば</b></p> <p>「燭台のともしびは、わたしたちに何かを語りかけているようです。何かを求めているようです。このセンターでの生活を通して、皆さん一人一人が、これまでの自分、これからの自分を考えようとしていることでしょう。ここでの生活の中で、あらためて人の和の大切さや尊さを見つけることと思います。そして、このともしびのつどいの中で、自分をさらに見つめることにし、迎え火のことばとします。」</p>	<p><b>営火長</b>：大きな声で堂々と言葉を述べる</p>
<p><b>7 分火</b></p> <p>進行「それでは、このともしびを周りにいる皆さんにも分けてあげましょう。営火長、親火、子火の皆さんは、自分の近くの人にともしびを分けてください。また、周りの皆さんも、もらったともしびを、周りの人に分けてあげましょう。<b>みなさん立ってください。</b>」</p> <p><b>全員へ分火</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・営火長・親火・子火は、周りの人に火を分ける</li> <li>・全員のろうそくに火がともったら、元の位置へ戻る</li> </ul>	<p><b>親火・子火・営火長</b>：回れ右</p>
<p><b>8 司会者からのよびかけ</b> 10秒後ゆっくりと気持ちを込めて読み始める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進行 全ての参加者のろうそくに火が灯ったら、進行を始める</li> <li>・音楽 CD3番を小さく流す</li> </ul> <p>進行「一本の小さな親火から、今（ ）本の美しい光の輪ができました。美しい光の輪をつくっている小さなともしび、これは人間だけが使うことのできる火です。わたしたちの祖先がはるか昔から絶えることなく、大切に守り続けてきた火です。文化の火ともいえるともしびです。</p> <p>そのともしびを目の高さまで上げて、じっと見つめてみましょう。今ごろはきっとみなさんの家族が、あなたのことを考えていることでしょうか。友達と仲良くできているだろうか。けがはしていないだろうか。病気はしていないだろうか。みなさんはそのような家族の気持ちを理解できるでしょうか。</p> <p>今まで、わがままを言って困らせたり、口ごたえをしたりしたことはなかったでしょうか。家族に対して今まで自分はどうであったか。今しばらく考えてみましょう。自分の身をすり減らしながら、周りを温かく、明るく照らすろうそくは、子どもを育てる親の姿に似てはいないでしょうか。</p> <p>子どものために尽くしながら、一日一日歳を重ねてゆく親を大切に、思いやりのある子どもであって欲しいと思います。親のことを考えるとき、人の心は最も素直になると言われます。</p> <p><b>(曲をしばらく聴く)</b></p> <p>その気持ちを心の奥深くしまう意味で静かに、ともしびを消してください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者のともしびが消えたら、進行を始める</li> </ul> <p>進行「これで迎え火の式を終わります。」(ゆっくりと)</p> <p>(※ 出し物等で大きくホールを使う場合は、燭台の火を消し、プレイホールのすみに移動する。)</p>	<p>音楽：進行の言葉が参加者に聞こえるように音量を調整する</p> <p><b>進行</b>：みんなに語りかけるように、ゆっくり優しく話す</p> <p><b>音楽</b>：だんだん大きく</p> <p><b>音楽</b>：ともしびを消し始めたら、徐々に小さくして消す</p>

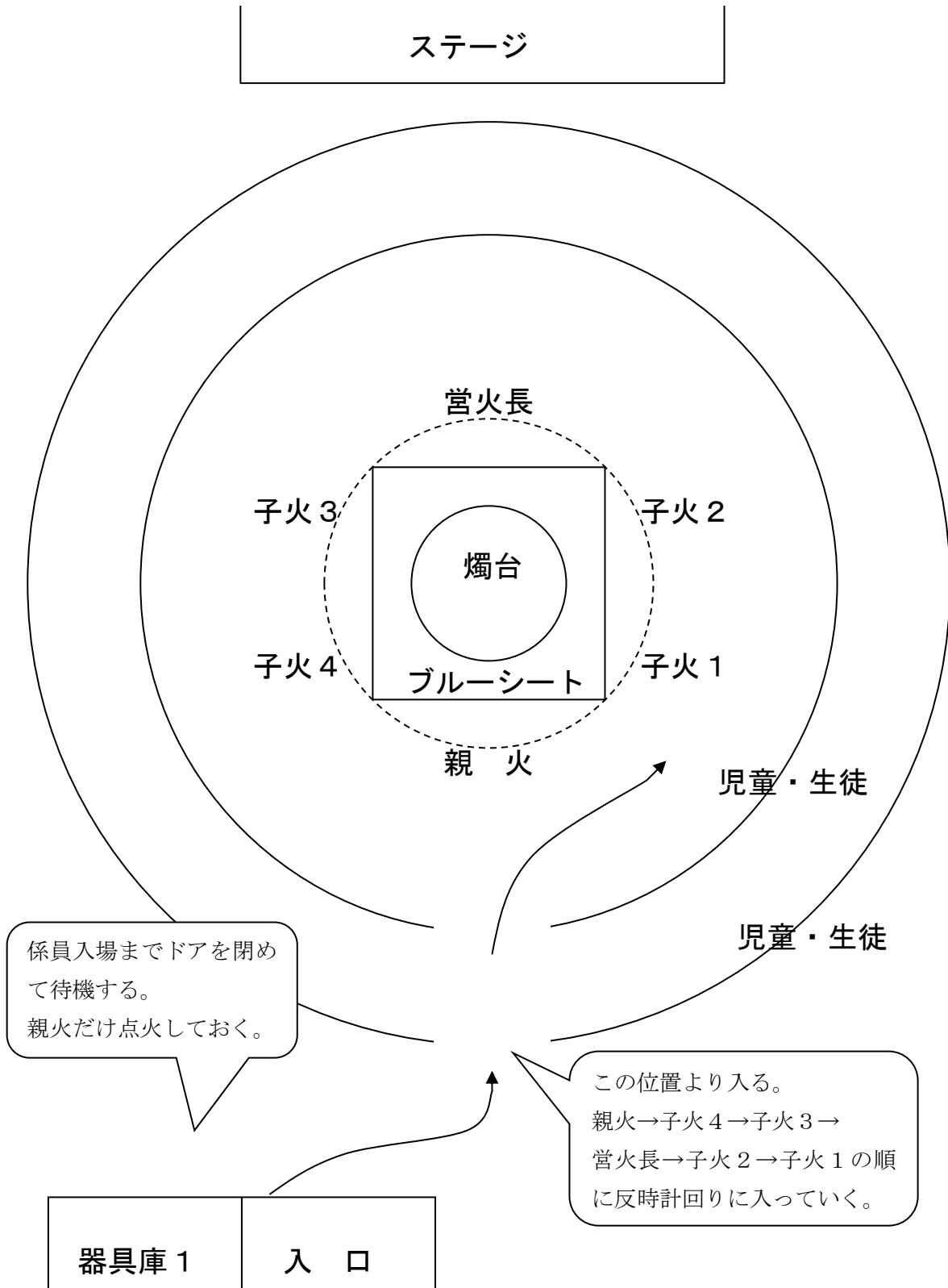
第二部 展開	演出ポイント
<p>&lt;第2部 交歓のつどい&gt;  進行「静かな中で第1部のセレモニーが終わりました。これからレクリエーションに入ります。歌やゲームで大いに楽しみましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・係のろうそくと参加者のろうそくを片付ける</li> </ul> <p>※ 第3部の前に燭台を中央に移動する</p>	<p>レクリエーション  や出し物を準備していると盛り上がる</p>

第三部 展開	演出ポイント
<p>&lt;第3部 送り火のつどい&gt;  <b>1 送り火のことば</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気・カーテン 電気を全て消し、カーテンを閉める</li> <li>・音楽 第二部が終わったら CD4番を流す  参加者や係が第一部と同じ隊形に戻ったら、音量を小さくする</li> <li>・進行 電気が消されカーテンが閉まったことを確認する  参加者や係が第一部と同じ隊形に戻ったら、進行を始める</li> </ul> <p>進行「ただ今から第3部『送り火の式』を始めます。」  進行「営火長は、送り火のことばをお願いします。」</p> <p><b>営火長のことば</b> (ゆっくりと噛みしめながら)  「楽しかったつどいも、いよいよ終わりの時がやってきました。(間) 静かな中に自分を見つめたり、生活の反省をしたりしました。(間) このつどいで深められた友情と感動をいつまでもよい思い出として、明日からの生活にいかしていくことを期待し、送り火のことばとします。」</p>	<p>電気・カーテン：  電気を消しカーテンを閉めることで、静かな雰囲気をつくる</p> <p>音楽：CD4番を小さい音で流すことで落ち着いた雰囲気をつくる</p> <p>音楽：営火長の言葉が終わったら、音楽をだんだん大きくする。しばらく聞いてだんだん小さくする</p>
<p><b>2 納火</b> (曲が聞こえなくなったら)</p> <p>進行「係の方は、燭台の最上段の一本を残して、他のともしびを消してください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽 音量を少しずつ大きくして、ともしびが最後の1本になったら少しずつ小さくする</li> <li>・親火・子火・営火長 カップを使って燭台のともしびを全て消す</li> </ul>	
<p><b>3 司会者からの呼びかけ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・係が元の位置に戻ったら、進行を始める</li> </ul> <p>進行「ホール内に広がったともしびは、今、私たち全員の心をまとめて中央の燭台の1本にかえり、一段と輝きを増したかのようです。このともしびのように、仲良く団結して、それぞれの目標に向かって、挑戦のともしびを燃やし続けていきましょう。そして、ここ霧島自然ふれあいセンターで、体験を通して学んだことを生かし、学校や家庭、地域をともしびのように明るく温かく照らせる一人ひとりになっていましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進行 5秒くらい間を空ける</li> </ul> <p>進行「親火の方は、最後の一本のともしびを消してください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親火 カップを使って残りのともしびを消す</li> </ul>	

#### 4 閉会のことば

- ・進行 親火が元の位置へ戻ったら、進行を始める  
進行「以上で（ ）のともしびのつどいのすべてを終わります。」  
**全員で拍手**
- ・電気・カーテン係 電気をつけて、カーテンを全て開ける

### 入場時会場図および係員入場方法





## ともしびのつどい台本（子火用）

★ 向かい合って礼 (セリフは大きな声で堂々と)

親 火 強い心と体の持ち主になるために

子火1 わたしたちは、心と体をきたえ、どんな苦しみにも負けず、最後までやりぬく強い心と体の持ち主になるよう努めます。

★ 向かい合って礼 (セリフは大きな声で堂々と)

親 火 豊かな心の持ち主になるために

子火2 わたしたちは、自分のことだけでなく、いつも他人の立場を考え、親切で思いやりのある温かい人間になるよう心がけます。

★ 向かい合って礼 (セリフは大きな声で堂々と)

親 火 いつまでも変わらない友情のために

子火3 わたしたちは、このすばらしい友情をさらに深め、  
これからの人生を共に助け合い、<sup>はげ</sup>励まし合っていくことを誓います。

★ 向かい合って礼 (セリフは大きな声で堂々と)

親 火 一日一日に全力を尽くすために

子火4 わたしたちは、一日一日を反省し、<sup>あす</sup>明日に向かって  
全力を尽くし、<sup>く</sup>悔いのない毎日を過ごすように努めます。

## ともしびのつどい台本（営火長用）

営火長（点火の合図）

（セリフは大きな声で堂々と）

「点火」

営火長（迎え火のことば）

（セリフは大きな声で堂々と）

<sup>しよくだい</sup>  
「燭台のともしびは、わたしたちに何かを語りかけている  
ようです。何かを求めているようです。このセンターでの生  
活を通して、皆さん一人一人が、これまでの自分、これからの  
自分を考えようとしていることでしょう。ここでの生活の中  
で、あらためて人の和の大切さや<sup>とうと</sup>尊さを見つけることと思  
います。そして、このともしびのつどいの中で、自分をさらにみ  
つめることにし、迎え火のことばとします。」

営火長（送り火のことば）

（セリフはやさしく語りかけるように）

「楽しかったつどいも、いよいよ終わりの時がやってきまし  
た。静かな中に自分を見つめたり、生活の反省をしたりしま  
した。このつどいで深められた友情と感動をいつまでもよい  
思い出として、明日からの生活にいかしていくことを期待し、  
送り火のことばとします。」

## ともしびのつどい台本（親火用）

営火長（点火の合図）→ 《親火：頂上の一本につける。》

親火（ともしびにささげることば）

（セリフは大きな声で堂々と）

「わたしたち（ ）の（ ）人は、ここ霧島自然ふれあいセンターにおいて、ともしびのつどいを開くことができ、うれしく思います。ひとつ屋根の下で共に語り、共に寝起きする中で、今まで気づかなかった友達のすばらしい姿を発見し、自分の姿を見直しながら、さらに、友情を深めたいと思います。今夜は、仲良く、楽しく心に残るつどいにし、これを機会に明日からの生活に役立てることを誓い、ともしびにささげることばとします。」

令和〇〇年〇月〇日 〇〇代表 〇〇 〇〇

親火→子火（誓いのことば）

**親 火 強い心と体の持ち主になるために**

子火1 わたしたちは、心と体をきたえ、どんな苦しみにも負けず、最後までやりぬく強い心と体の持ち主になるよう努めます。

**親 火 豊かな心の持ち主になるために**

子火2 わたしたちは、自分のことだけでなく、いつも他人の立場を考え、親切で思いやりのある温かい人間になるよう心がけます。

**親 火 いつまでも変わらない友情のために**

子火3 わたしたちは、このすばらしい友情をさらに深め、これからの人生を共に助け合い、励まし合っていくことを誓います。

**親 火 一日一日に全力を尽くすために**

子火4 わたしたちは、一日一日を反省し、明日に向かって全力を尽くし、悔いのない毎日を過ごすように努めます。

## ともしびのつどい台本（進行用）

### <第1部 迎え火のつどい>

※ 参加者入場

#### 1 開会のことば（CDデッキスイッチONしてから～「遠き山に日は落ちて～」）

**「ただいまから、( )のともしびのつどいを始めます。」**

#### 2 営火入場

**「営火入場」** 親火，子火4，子火3，営火長，子火2，子火1の順

**「営火長は、点火の合図をお願いします。」** 営火長「点火」

親火：頂上の本に火をつける。

#### 3 ともしびに捧げることば

**「親火の方は、ともしびにささげることばをお願いします。」**

親火のことば 「わたしたち～とします。」 平成〇〇年〇月〇日 〇〇代表 〇〇 〇〇

#### 4 誓いのことば

**「親火の方は、子火に呼びかけて、ともしびを分けてあげてく**

**ださい。」**

親火と子火の誓いのことば 親火→子火1→親火→子火2→親火→子火3→親火→子火4

#### 5 燭台へ点火

**「係の方は、全員で燭台のろうそくに点火してください。」**

#### 6 迎え火のことば

**「営火長は、迎え火のことばをお願いします。」**

営火長のことば 「燭台のともしびは、～迎え火のことばとします。」

#### 7 分火

**「それでは、このともしびを周りにはる皆さんにも分けてあげ**

**ましょう。営火長，親火，子火の皆さんは，自分の近くの人にと**

もしびを分けてください。また、周りの皆さんも、もらったとも  
しびを、周りの人に分けてあげましょう。」

8 司会者からのよびかけ

(セリフはやさしく語りかけるように)

「一本の小さな親火から、今( )本の美しい光の輪ができました。美しい光の輪をつくっている小さなともしび、これは人間だけが使うことのできる火です。わたしたちの祖先がはるか昔から絶えることなく、大切に守り続けてきた火です。文化の火ともいえるともしびです。

そのともしびを目の高さまで上げて、じっと見つめてみましょう。今ごろはきっとみなさんの家族が、あなたのことを考えていることでしょうか。友達と仲良くできているだろうか。けがはしていないだろうか。病気はしていないだろうか。みなさんはそのような家族の気持ちを理解できるでしょうか。

今まで、わがままを言って困らせたり、口ごたえをしたりしたことはなかったでしょうか。家族に対して今まで自分はどうかであったか。今しばらく考えてみましょう。自分の身をすり減らしながら、周りを温かく、明るく照らすろうそくは、子どもを育てる親の姿に似てはいないでしょうか。

子どものために尽くしながら、一日一日歳を重ねてゆく親を大切に  
する、思いやりのある子どもであって欲しいと思います。親

のことを考えるとき、人の心は最も素直になると言われます。その気持ちを心の奥深くしまう意味で静かに、ともしびを消してください。」

「これで迎え火の式を終わります。」

(※ 出し物等で大きくホールを使う場合は、燭台の火を消し、プレイホールのすみに移動する。)

### <第2部 交歓のつどい>

「静かな中で第1部のセレモニーが終わりました。これからしクリエーションに入ります。歌やゲームで大いに楽しみましよう。」

(※ 第3部の前に燭台を中央に移動し、ろうそくに火をつける。)

### <第3部 送り火のつどい>

#### 1 送り火のことば

「ただ今から第3部『送り火の式』を始めます。」

「営火長は、送り火のことばをお願いします。」

営火長のことば 「楽しかったつどいも～送り火のことばとします。」

#### 2 納火

「係の方は、燭台の最上段の一本を残して、他のともしびを消してください。」



### 3 司会者からよびかけ

「ホール内に広がったともしびは、今、私たち全員の心をまとめて中央の燭台の 1 本にかえり、一段と輝きを増したかのようです。このともしびのように、仲良く団結して、それぞれの目標に向かって、挑戦のともしびを燃やし続けていきましょう。そして、ここ霧島自然ふれあいセンターで、体験を通して学んだことを生かし、学校や家庭、地域をともしびのように明るく温かく照らせる一人ひとりになっていきましょう。」

「親火の方は、最後の一本のともしびを消してください。」

### 4 閉会のことば

「以上で（ ）のともしびのつどいのすべてを終わります。」